

教育相談通信 3月号

HEART to HEART



発行：渋川青翠高校生徒指導部教育相談係

発行日：令和 3年 3月24日

文責：劔持 三千代

3年生を送り出してからあっという間に3週間が経過し、本日が令和2年度の終業日です。1・2年生の皆さんにとって、この1年はどんな1年だったでしょうか。

1年生にとっては、誰もが良いスタートを切ろうと入学してきたはずの憧れの高校生活が、コロナ禍に見舞われたことで躓き、全力を出し切れない場面があったかもしれません。2年生は、楽しみにしていた修学旅行が中止となり、思い描いていた沖縄の蒼い海が遠のいて、やる気を失った日があったかもしれません。けれども、皆さんは様々なことを我慢し、それらを乗り越えて、今日の終業式に臨みました。全員がマスクを着用し、手指消毒を行い、県外への外出を我慢し、渋川青翠高校の仲間を互いに守り合い、家族を守り、本当によく頑張りました。暫く、コロナウィルスに感染しないための対策は続きますが、是非、4月からの令和3年度は、自分自身の強固な目標を持って生活してください。何となく一日一日を過ごす事から、卒業して、夢を持って前を向いて過ごしてみませんか。渋川青翠高校の皆さんなら出来るはずです。



しかし、この春休みは、新たな悩みを抱えてしまう時期でもあります。進路はどうしたら良いのか、新たに始まる授業に付いていけるのか、どんな先生でどんな風に教えるのか、クラス替えはどうなるのか、仲の良い友達と同じクラスになれるか、新しい友人は出来るか、担任の先生は誰になるのか、部活に1年生は入ってくれるのだろうか等、悩みのない人はいませんよね。皆さんにはそんな時にはどうしたら良いか、今までに何度も伝えてきましたよね。親友や隣の席の知り合いでも、家族でも先生でも、自分の心の「重いもの」を吐き出してみてください。「ねっ、気にならない？4月から・・・心配なんだよ・・・」と。相談された人は、自分が信頼されて、選ばれて相談されているのですから、自分だったらという気持ちで、応えてあげてください。「実はね、自分も〇〇心配なんだよ」って。どんな風に言葉を掛けて良いのか分からない時は、「自分が掛けて欲しい言葉」を伝えてみてください。きっと、お互い「心の中の重たいもの」がなくなって、温かい気持ちになるはずです。それでも、友達にも家族や先生にも話せない悩みや不安を抱えている人は、裏面の相談機関に相談してみてください。4月にスクールカウンセラーさんのカウンセリングも再開されますが、それまでの間、決してひとりで抱えず、相談してみてください。誰かに伝えることで、心は軽くなるものです。

この1年間、スクールカウンセラー通信（文責 山本）・教育相談通信（文責 劔持）を最後まで読んで頂き、有り難うございました。これからも皆さんの心の声に耳を傾け、少しでも皆さんに寄り添えるような内容の通信を作っていけるよう努力してまいります。新しい年度が、皆さんにとって充実するよう、祈っています。



